

校務改善推進の現状

北区立飛鳥中学校

北区立飛鳥中学校



北区立飛鳥中学校の概況

- 創立65周年 由緒ある飛鳥山公園の近くに立地
- 全校生徒 300名
- 1学年3学級ずつ 全9クラス
- 正規教員数 20名(うち加配3名)
- 主幹教諭 4名
- 主任教諭 5名
- 主任養護教諭 1名
- 教諭 8名

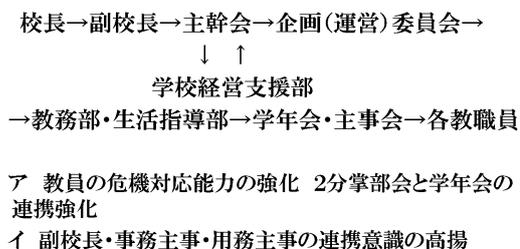
校務改善の必要性

- 生徒の健全育成・学力向上に対応できる組織づくりが必要。
- 副校長の職務内容の拡大が止まらない中、校務のシェアが必要。
- 教職員の人材育成・能力開発に副校長がかかわる余裕をつくる必要。

組織改革の概要

- 学校経営支援部の必要性と副校長支援の理念を繰り返し説明。
- 学校経営支援部組織の設置、年6回の定例化と職務内容の明確化。
- 学校経営支援部に主幹4名のうち1名を配置。(他の分掌から外す)
- 他の分掌を横断的に調整。

組織図1 縦組織の改革

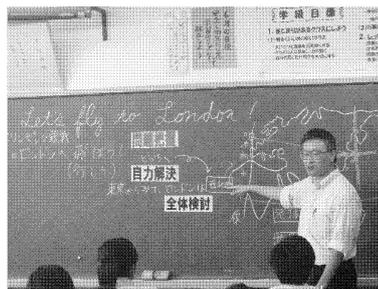


組織図2 横組織の改革

OJT推進組織

- Aリーダー→Bサブ・リーダー→若手教員・初任者
- ↓
- 問題解決型授業形態を意識したグループ編成
 - 1 カテゴリー別グループ (理数系・文科系・実技系・事務&主事系)
 - 2 キーワード別グループ (道徳授業・学校行事・小中一貫教育)

問題解決型授業形態



問題解決型授業の4ステップ



学校経営支援部組織

- 学校経営支援主任に主幹教諭をおく。
- この主幹教諭は、管理職候補者として校務改善について、管理職とともに考えながら職務にあたっている。
- 用務主事 2名
- 事務主事 2名
- 栄養士 1名
- 校長
- 副校長

学校経営支援部会



学校経営主任の主な職務内容

- スタッフ会議(毎朝実施)の運営、進行
- 調査関係の補佐
- 資料配付の補佐
- 来客時の対応
- 用務主事、事務主事、栄養士との連絡調整

本校で特に重点をおいた点

- 用務主事、事務主事、栄養士さんと日頃じっくりと会話する時間がないが、今年より定期的に学校経営支援部会のミーティングを設けた。改めて意見や要望を聞くことができ、学校職員組織の一員として自覚を持っていただく良い機会となった。

成果

- 副校長が学力向上策等の課題解決に取り組む余裕が少しずつだが生まれた。
- 学校経営支援部の主幹教諭の意識が高まり、副校長の補佐としての役割が拡大した。
- 学校経営支援部の設置により、教員と主事の情報交換・情報連携ができてきた。

課題

- 今までの分掌とは、全く別立ての運営組織なので教職員全体に、まだ馴染んでいない。
- 試行錯誤の中で運営しているので、学校経営支援主任の職務内容が不定である。

おわりに

- 情報交換と情報連携ができる機動力のある校務改善をすすめるため

学校経営支援部の充実
OJ1推進組織が不可欠である

教職員の人材育成・能力開発にあたる学校経営支援主任をさらに育成する必要がある。